

2022年度町田市教育委員会

第8回定例会会議録

- 1、開催日 2022年11月4日
- 2、開催場所 第二、三、四、五会議室
- 3、出席者 教 育 長 坂 本 修 一
委 員 後 藤 良 秀
委 員 森 山 賢 一
委 員 井 上 由 奈
委 員 関 根 美 咲
- 4、署名者 教育長
委 員
- 5、出席事務局職員 学校教育部長 石 坂 泰 弘
生涯学習部長 佐 藤 浩 子
教育総務課長 高 田 正 人
指導室長 小 池 木綿子
(兼)指導課長
教育総務課担当課長 根 岸 良 美
生涯学習センター長 西久保 陽 子
生涯学習センター担当課長 平 林 隆 彦
図書館長 中 嶋 真
図書館副館長 竹 川 裕 之
図書館担当課長 本 郷 剛
市民文学館担当課長 野 澤 茂 樹
(町田市民文学館長)
文化スポーツ振興部
スポーツ振興課担当課長 高 梨 光 之
スポーツ振興課担当係長 十 河 真 広
書 記 馬 目 拓 実

書	記	阿部 榛果
書	記	齊藤 華子
書	記	板垣 有美子
速記士		帯刀 道代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第21号 町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

原案可決

議案第22号 町田市立学校の学校徴収金事務取扱規程の一部を改正する規程について

原案可決

議案第23号 町田市立図書館条例（案）について

原案可決

7、傍聴者数 4名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○教育長 開会前に1点お伝えいたします。本日は、報道機関1社から事前に録音の申請がございました。録音については自席で行っていただくという条件で、この1社のみ許可しておりますので、ご承知おきをいただきたいと思います。

それでは、ただいまから町田市教育委員会第8回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は森山委員です。

初めに、日程の一部変更をお願いいたします。日程第2、議案審議事項のうち、議案第23号は、今後の市議会における議決案件であることから、非公開とさせていただきます。日程第4、報告事項終了後に、一旦休憩をとり、関係者のみお残りいただいて、審議したいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

以下、日程に従って進めてまいります。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず、私から1点報告させていただきます。

前回の定例会で各委員の皆様から、10月4日に行われた中学校連合体育大会の報告がございましたが、10月13日及び14日には小学校のほうの連合体育大会が町田GIONスタジアムにおいて開催されました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた種目の選定や競技の実施方法の工夫など、小学校教育研究会の体育部の校長先生やそのほかの先生方が中心となって、校長会と連携しながら、当日に至るまで入念な準備を進めていただきました。また、今年度も国士舘大学と玉川大学の学生の皆さんが協力していただきまして、円滑な計時や計測が進められました。

中学校の連合体育大会は天候に恵まれたんですが、小学校連合体育大会では途中で雨が強くなって、競技を入れかえたり、中断せざるを得ない状況になったりしました。そのたびに、全ての先生方と学生の皆さんが、子どもたちに少しでもよい環境を準備したいとの一心で、トラック上の水を拭き取る姿に感動いたしました。特に、国士舘大学、玉川大学、両大学の学生の皆さんには大変感謝をしております。私も久しぶりの屋外で、広々とした陸上競技場のさわやかな空気を吸いながら、子どもたちの楽しそうな姿や、大きな声援を聞くことができまして、大変気持ちのいい3日間を過ごすことができました。

前回の定例会で後藤委員のほうから同様のお話がありましたが、ほかの自治体の中にはこういう連合行事を取りやめるところもあるようですけれども、私はこのような行事は、子どもたちにとって体力向上はもちろん、運動に対する親しみや楽しみ、あるいは競い合い、励まし合い、認め合うという喜びなどを実感することができる大変有意義な行事と考えております。もちろんこの準備に当たる役員の校長先生を初め、現場の先生方は大変だと思いますが、ぜひ継続した開催をお願いしたいと思っております。

そのほかの主な活動は、お配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

それでは次に、各委員の皆様からご報告をお願いいたします。

○後藤委員 この秋は、連合行事や学校訪問など、子どもたちや先生方の活躍を見る機会が数多くありました。

まず、近いところですが、11月2日の町田第三中学校の学校訪問では、生徒の挨拶の態度とか、しっかりと学習へ取り組む姿、いい授業をしようと努めている先生たちの様子、

学校内外の整備状況など、校長先生の安定した学校経営のもとに教育活動が進められている様子を見ることができ、とても感心しました。

特に校内研究の取り組みを聞いたんですけれども、教員の指導実態を 18 の視点から見直して、授業における弱点、例えば生徒の満足感や達成感を得られるまとめのやり方、生徒の考えを見える化あるいは共有化するという工夫が欠けているというか、改善しなければならないという点を課題として明らかにし、ICTの活用も取り入れた授業改善に学校全体として取り組んでいる姿がありました。この生徒の学び方に重点を置いた授業の改善という取り組みは、中学校では本当に先進的に頑張られているなと思いますので、他校の参考になる事例ではないかと思いました。

次に、連合行事ですが、10月13日にスタジアムで行われた小学校の連合体育大会は、小雨まじりの中でしたけれども、走ったり、跳んだり、応援したりと、一体となった様子を感じることができました。

10月28日には中学校特別支援学級連合マラソン大会が開催されて、ここでは一人ひとりがそれぞれの長距離に対して頑張って走り抜いてゴールする、その充実感を味わっている姿もとても心に迫るものがありました。

さらに、10月30日ですが、中学校連合演劇発表会に参加してきました。子どもたちがそれぞれみずからの特性を生かしながら豊かに表現をしようとする姿が印象的だと感じました。

町田市の子どものさまざまな活躍がこういう機会に見られて大変うれしく思っております。今後も連合行事は意義のある取り組みが続いてほしいと願っています。

以上です。

○森山委員 私からは、先ほど教育長と後藤委員からもお話がありましたが、10月13日、14日に開催されました小学校連合体育大会について、少しお話をさせていただきたいと思います。

先ほどのとおり、あいにくの天候だったわけですが、子どもたちが応援をしっかりとやったり、競技も自分たちの出番のときに準備をして、ああいう悪天候の中でもしっかりと取り組む子どもたちの姿にすごく感動しました。日ごろの指導のこともあるんでしょうけれども、きちんと並んで1人も抜けることなく競技に参加するというすばらしい姿を見せていただきました。連合行事は集団の行事でもあります。集団というところに重要な意味を持っていると思います。そういう意味でも、こういう行事は、準備とか、それぞれ

大変なところもありますけれども、継続してやっていただけたらありがたいと思います。

2点目は、21日（金）に行われました小山中学校の創立10周年記念式典に参加いたしました。特に私が感じたところは、そのときの在校生は周年行事にちょうど出くわしたといますか、生徒に対して周年行事がどういう意味を持つのか。生徒は周年行事にたまたま出くわすわけです。ただ、そうはいつでも、生徒たちにとって周年行事は非常に重要な意味のあるものだとも思いました。初代の校長先生がちょうど10年前のお話をしていたところ、生徒も、昔はこうだったんだと。10年というのは長いわけです。こうやって学校が誕生したんだと。そういう意味で、生徒にとっても何かのきっかけになったんじゃないかなと感じました。

以上です。

○井上委員 私からは4点お話しいたします。

まず、10月13日に参加しました小学校連合体育大会についてです。市内42校が2日間に分けて参加しましたが、体育科の先生方を中心としたきばきとした動きと明確な指示に、綿密な準備と計画を経てこの日を迎えたことがよくわかりました。

あいにくの寒空のもとでの開催でしたが、子どもたちは、副市長の挨拶に反応して拍手をしたり、開催に当たり、「イエーイ！」と歓声を上げたり、元気いっぱいの様子で、400メートルリレーの走者紹介では、女の子はあくまでクールに、男の子はおどけてポーズを決めたりしていて、とても楽しそうだったことが印象的でした。

子どもたちは、他校の先生の指示にもはきはきと返事をして従い、私たちの前を通過するたびに会釈や挨拶をしてくれて、大学生のボランティアよりもしっかり挨拶ができていたように感じました。

また、児童の待機する2階スタンドは、風がとても強く、冬の上着が必要な気温でしたが、自分の出していない競技も気を抜かず観戦し、競技前の友達に、「頑張ってるね」と自然に応援の言葉かけをする姿や、他校の児童にも、「最後まで頑張れ」、「諦めるな」と大声で必死に声援を飛ばす温かさを目の当たりにして、町田市の6年生たちは本当にすてきな子どもたちに育っているということを再確認できました。

次に、10月18日の中P連懇談会についてです。PTAに加入する意義についてや、不登校の子どもが進学について情報を得る場がないこと、学校の働き方改革についてや、心のアンケートについて、コミュニティスクールの運営についてなど、さまざまなディスカッションが行われました。昨年度とは約半分の会長が入れかわったようで、教育委員とP

TA会長は忌憚のない意見交換ができる貴重な場になったのではないかと思います。

次に、10月30日にひなた村で行われた中学校連合演劇発表会についてです。演劇経験者の私は毎年とても楽しみにしている行事の1つでもあります。脚本はネットからダウンロードしたり、顧問の先生が書いたり、生徒たち自身が書いたり、さまざまでしたが、ファンタジーと中学生らしい等身大の日常を掛け合わせた内容が多く見られました。

また、コロナ禍ということで、引き続きマスクを着用しての演技となり、声の大きさの調節や、顔の表情での表現が難しい中、各校工夫を凝らし、1つの作品を完成させるために、大道具、小道具、照明や音響など、全員が力を合わせ、ひたむきに練習を重ねてきたことがうかがえるようなすばらしい発表会でした。

最後に、11月2日の町田第三中学校への市教委訪問についてです。大石校長先生のご指導のもと、学校は非常にきれいに管理されており、掲示物もすっきりと見やすく整然と整理されて、心地のよい空間でした。生徒たちは元気よく挨拶をしてくれて、緊張もあつたのかもしれませんが、どの学年も落ちついた様子でした。

また、今年度より情緒固定級もスタートしたところですが、さらに多くの不登校の生徒たちを受け入れ、特別支援教育研修の継続はもちろんのこと、ケース会議などを重ね、一人ひとりに向き合う体制を整えていらっしゃる先生方には本当に頭が下がる思いです。

先ほどの中P連懇談会でも話題に上がっていた不登校についてですが、学校に行く行かないにかかわらず、町田の子どもたちであれば、必要な教育が受けられる体制を整えていくことが求められていますし、同じ悩みを持つ家庭の交流の場、情報共有の場も求められていると思います。教育委員として小・中学校と連携しながら、子どもも家庭も安心して町田で子育てをしていけるような環境づくりに尽力したいと改めて感じました。

私からは以上です。

○関根委員 今月はたくさんの活動がございました。

10月12日には、市長と教育長、教育委員との2023年度予算に関する懇談会が開催されました。幾つかのテーマの中で、私は、最近ニュースなどでよく耳にする「部活動の地域移行に向けて」を中心にお話をさせていただきました。生徒、保護者、教員のそれぞれの立場から、部活動全体のあり方自体を検討し、どうすれば子どもたちにとって一番いい形の部活動になるかを考えていかねばなりません。国や東京都が推奨する民間事業者への委託を踏まえながら、現在の形のよい部分を残しつつも、運動部、文化部、それぞれについて、モデル的に部活動指導外部委託事業を実施し、金銭的な部分や人材の確保も含めて、

課題と解決策を検討してまいりたいと思います。

10月13日、14日には、2022年度小学校連合体育大会が開催されました。2日間とも天候が思わしくなく、開催が危ぶまれましたが、無事に両日とも開催することができ、子どもたちも保護者も先生方もとても喜んでいらっしゃいました。それぞれの小学校が集まるこの大会は、各学校の応援の個性も際立ち、コロナ禍で昨年は大声を出せなかった分、今年は元気よく声援を送っていました。特に開会式では、代表の校長先生のご挨拶の際、まるでライブ会場のように、大きな拍手と子どもたちの声が会場に響き渡り、子どもたちのやる気と活気がうかがえ、とても感動しました。来年もこの大会に元気で参加してくれることを楽しみにしております。

10月18日には、中学校PTA連合会教育委員との懇談会に出席してまいりました。まず、私から教育委員の仕事についてご説明をさせていただいた後、会長の菅原さんの進行で、各校のPTA会長の皆さんと教育委員の話し合いが進められました。教科書選択の実施方法、PTAのあり方、CSについて、不登校の生徒について、PTAとしてできること、タイムマシン作文についてなど、たくさんの議題についてディスカッションをし、とても有意義な時間が持てました。

10月21日には、小山中学校創立10周年記念式典に参列させていただきました。厳かな式典の後、この学校伝統の和太鼓の演奏をお聴きました。1、2年生だけの演奏でしたが、息もぴったりで、その迫力に感動いたしました。最後に小山中学校初代校長の大川武司先生による記念講演があり、創立当初の様子などが紹介され、生徒も興味深く聴き入っていました。ただ10周年という若い学校ではありますが、今現在も子どもたちの成長とともに、脈々と歴史が刻まれています。今後も「創造・敬愛・健康」の教育目標のもと、地域に愛される学校を目指していただきたいと思います。

10月23日には、生涯学習センターまつりと文学館まつりに参加させていただきました。

生涯学習センターまつりでは、7階のホールで朗読会や合唱、ダンスや劇などの発表があり、それぞれの団体の皆様の熱演ぶりが大変印象的でした。6階では、写真、水墨画、ジュエリーメイキング、いのちと人権について考える会、切り絵、折り紙、絵手紙、調べ学習、歴史についてなど、各方面で活動されているサークルの方々による展示がありました。

各ブースで一つ一つお話をお伺いしたのですが、私自身が入会への熱烈な勧誘を受けました。メンバーがご高齢ということもあり、年々参加者が減ってきて、困っていらっしゃ

るようです。元気の源であり、生きがいとおっしゃる方々の中にも、今後は町田市の幅広い年齢の方々とも交流がしたいなど、とても貴重なご意見をいただきました。

その後、文学館まつりにお伺いしました。文学館の前の歩行者天国にはステージが設置され、バレエ発表や野外ライブなどが行われており、フリーマーケットや模擬店、野菜の販売も盛況でした。文学館に入ると、1階では絵画や鉄道模型の展示、占いのコーナー、ゲームなどがあり、2階には寄席、おはなし会、ワークショップ、浅野いにお展が開催されており、私も拝見させていただきました。浅野氏の世界観に浸っていると、2、3名のコアなファンが、「この漫画のこのフレーズがたまらなくいいですよ」と教えてくださり、見どころを指南してくださいました。

2つのおまつりとも、私が今まで見たことがないくらい、たくさんの方々が来館されていたので、各施設のことを知っていただくよいきっかけになり、地域との交流も深まったのではないかと思います。

10月25日には、町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式が2年ぶりに開催されました。個人の部28名、団体の部10団体の表彰でしたが、どの方々も町田市の学校教育の現場にて、長年ご尽力をいただいている方ばかりです。一人ひとりに教育長が感謝状を読み上げ、それぞれの方に温かい一言をかけてくださいました。今後も地域学校協働活動の一環として、地域の皆様が町田市の子どもたちのためにご協力いただけるよう、バックアップしてまいりたいと思います。

10月28日には、令和4年度特別支援学級連合マラソン大会にお伺いしました。町田市内の中学校10校の特別支援学級の子どもたちが参加し、1,000メートル以下の部の10メートル走、20メートル走、そして1,000メートル走、2,100メートル走が実施されました。各個人がそれぞれ自分に合った距離を選び、懸命に走るその姿は胸を打つものがありました。学校の枠を超えて、保護者も生徒も先生方も、会場全体が走者を応援して、声援や拍手が鳴り響き、ゴールした瞬間にはみんなの胸が熱くなる、そんな温かい時間でした。

10月30日には、ひなた村にて、中学校連合演劇発表会が開催されました。今年は7校の中学校演劇部が参加し、それぞれが個性あふれる熱演ぶりでした。ある中学校の校長先生からお聞きしたのですが、20名ほどの部員のうち、半分は不登校やクラスで問題のある生徒だということです。さらに、今年は特別支援学級の生徒も入部して、みんながその生徒を支え、とても温かい空気が生まれているそうです。

また、ある学校の演技力のレベルが高く、脚本も秀逸で、とても感動して、気がついた

ら涙を流していました。中学生の演劇でここまで引き込まれるとは自分でも思っていなかったもので、びっくりです。さらに驚いたのが、演出担当が1年生の生徒だということです。この学校は、町田市中学校研究会により優秀賞をいただいたとのことでした。町田にはまだまだいろいろな可能性を秘めた子どもたちがたくさんいて、これから楽しみです。

11月2日には、中学校PTA連合会ブロック別会議（北ブロック）に出席させていただきました。今年度の地域活動部の懇談テーマは「ア・オ・ハ・ル」です。2年半を超えるコロナ禍で、今の中学生は青春時代をどう生きているか、どのように楽しんでいるのか、子どもたちを取り巻く環境について話し合いました。学校や家庭では、コロナ前とコロナ禍で、子どもたちがどのように変化しているか。PTAとしての役割と、地域の連携、親たちにできることなどについてディスカッションしました。

今の子どもたちのリアルな青春と、大人になった私たちが振り返る青春とどう違うのか。そして、私たちがそれをどう理解し、受け止めるべきなのか。最近の子どもたちは、どんどんいい子でおとなしくなっているが、それがよいのか。今後、世界を渡り合える人材が育つのか、とても心配だというご意見もありました。今回の皆さんの貴重なご意見を踏まえた上で、今を生きる子どもたちを今後もしっかり見守ってまいりたいと思います。

毎年この季節は各所で市民や子どもたちにかかわる教育活動がたくさんあります。それぞれ裏方で動き、事前にご準備してくださった方々に心より感謝を申し上げます。

私からは以上です。

○教育長 そのほかに、事務局も含めて報告あるいは質問などございましたらお願いいたします—よろしいですか。

以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第21号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明を申し上げます。

○学校教育部長 議案第21号「町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について」、ご説明申し上げます。

本件は、町田市立学校の学校教材費等の公会計化に伴い、関係する規定を整備するため、改正するものです。

1枚おめくりいただきまして、2「改正内容」についてでございます。

校長が事務処理を行う学校徴収金から、公会計化の対象となる学校教材費等を削ります。

3「施行期日」です。令和5年4月1日から施行いたします。

もう一枚おめくりください。こちらは改正前と改正後の規定につきまして表でまとめたものでございます。

説明は以上でございます。

○教育長 以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して、何かご質問等ございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りします。議案第21号は原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第22号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明いたします。

○学校教育部長 議案第22号「町田市立学校の学校徴収金事務取扱規程の一部を改正する規程について」、ご説明申し上げます。

本件は、町田市立学校の学校教材費等の公会計化に伴い、現在の学校徴収金管理システムの運用を終了することから、関係する規定を整備するため、及び学校徴収金の事務手続の一部を変更するため、改正するものでございます。

1枚おめくりください。

2「改正内容」についてでございます。

(1) 学校徴収金管理システムに関する規定を削ります。

(2) 督促に関する規定を改めます。

(3) 事業者選定委員会に諮る契約に関する規定を整理いたします。

(4) その他文言の整理を行います。

3「施行期日」です。令和5年4月1日から施行いたします。

もう一枚おめくりください。こちらは改正前と改正後の規定につきまして表でまとめたものでございます。

説明は以上でございます。

○教育長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して、何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りします。議案第22号は原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

休憩いたします。

午前 10 時 27 分休憩

午前 10 時 28 分再開

○教育長 再開いたします。

次に、日程第 3、協議事項に入ります。

協議事項(1)「町田市スポーツ推進審議会委員の選任について」を協議いたします。

本件は、お手元の資料のとおり、10月21日付で町田市長から教育長宛てに、審議会委員の選出について協議があったものでございます。

なお、本日は、市長部局の担当である文化スポーツ振興部の担当者が出席しておりますので、詳細はそちらから説明していただき、その上で教育委員の皆様から意見を述べるといことで協議を進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

それでは、スポーツ振興課長、説明をお願いいたします。

○スポーツ振興担当課長 このたび、2020年12月から2年間委嘱されていた町田市スポーツ推進審議会委員11人の任期が満了となりました。本件は、町田市スポーツ推進審議会条例第3条「組織」に基づき、新たに11人の委員を選任するに当たり、教育委員会のご意見を求めるものでございます。町田市スポーツ推進審議会条例第3条1項では、「審議会は、委員11人以内をもって組織する」とされています。また同条2項では、「委員は、次に掲げる者のうちから、町田市教育委員会の意見を聴いて、市長が委嘱する」とされ、学識経験者3人以内、スポーツ団体の代表3人以内など、選出の区分が列記されております。具体的な委員につきましては、A4横で左上に「町田市スポーツ推進審議会委員名簿」

と記載のある資料をご覧ください。名簿に示した委員については、市内の大学やスポーツ団体、校長会等からの推薦による各団体の代表で、市民委員については公募による選定を行っております。

ご説明は以上となります。ご協議のほどよろしく申し上げます。

○教育長 以上で説明が終わりました。

これより協議に入ります。ただいまの説明に関して、何かご質問、ご意見などがございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは、本協議内容について特にご異議がなければ、教育委員会として同意するということで、その旨文書で私から市長宛て回答したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきますと思います。

以上で協議事項を終了いたします。

休憩いたします。

午前 10 時 31 分休憩

午前 10 時 32 分再開

○教育長 再開いたします。

日程第 4、報告事項に入ります。

本日の報告事項は 6 件ございます。

まず、報告事項（1）について、担当者から報告させていただきます。

○教育総務課長 報告事項（1）「町田市立学校の学校教材費等徴収規則の制定について」、ご説明申し上げます。

本件は、町田市立学校の学校教材費等の公会計化に伴い、市長が行う町田市立小学校及び中学校の学校教材費等の徴収に関し、必要な事項を定めるため、制定するものでございます。

公布日は令和 4 年 11 月 4 日。施行期日は令和 5 年 4 月 1 日でございます。

1 枚おめくりください。町田市立学校の学校教材費等徴収規則の条文でございます。

主な内容についてご説明いたします。

第 2 条は、この規則で使用する用語の定義を定めております。

第 3 条は、学校教材費等の負担に係る保護者の承諾について定めております。

第4条は、各学校で使用実施等する学校教材等の種類及び費用を定める学校教材費等執行計画について定めております。

第5条及び第6条は、学校教材費等の徴収等及び納入方法について定めております。

説明は以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、何かご質問などございましたらお願いいたします。

○**井上委員** 学校教材費等の納入方法についてなのですが、保護者の手続等に当たり、以前と比べて負担というか、変わりはないのか、教えてください。

○**教育総務課長** 保護者が教材費等を支払うに当たっての変更点でございますが、現在はゆうちょ銀行の口座振替等で対応させていただいているところでございます。今後、公会計化することによりまして、口座振替につきましては、現在の金融機関1行から17金融機関に対象を広げる予定となっております。また、納入通知書の支払いも継続して行う予定となっております。

○**教育長** そのほか、いかがでしょうか。——よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(2)について、担当者からご報告いたします。

○**生涯学習センター長** 報告事項(2)『『2022年度生涯学習センターまつり』の実施報告について』、ご説明いたします。

開催日時は、10月22日、23日の2日間で実施いたしました。

今年度のテーマは、「コロナに負けず みんなで咲かそう まつりの華」です。

2日間で1,100名の方にご来場いただきました。

参加団体ですが、表にありますとおり、32団体が参加いたしました。ただ、長引く新型コロナウイルスの影響もありまして、活動を休止したり、縮小したりした団体があったため、2019年度よりも少ない参加団体となっております。

実施概要です。生涯学習センターまつりは、日ごろの団体活動の成果を発表する機会として、3年ぶりに来場型で実施いたしました。23日は「町田時代祭り」、「文学館まつり」、「ゆうゆう版画美術館まつり」と日程を合わせて開催いたしまして、それぞれのチラシに情報を掲載するなど連携を行ったことから、多くの方にご来場していただき、活動の様子をご覧いただくことができました。

当日の様子を写真で掲載しておりますが、まちだガールズ・クワイアによるオープニン

グですとか、フィナーレは阿波踊りをご披露いただきました。また、元気なシニアによるファッションショーなど、100人近い観客の方にご覧いただいた発表もございました。また、子どもたちが館内を回りながらスタンプラリーを楽しむ姿なども見られております。

説明は以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続いて、報告事項（3）について、担当者から報告させていただきます。

○**図書館長** 報告事項（3）「『推し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト 2022』の開催について」、報告いたします。

町田市立図書館では、小学4年生から18歳までの方を対象に、読書に親しみ、図書館に足を運んでもらうきっかけをつくることを目的に本イベントを開催いたします。

募集期間は11月15日から来年1月10日までとなっております。冬休みとその前後の期間という形です。

対象者は、町田市在住・在学、または近隣の10市になりますが、図書館の相互利用市に在住の小学4年生から18歳の方です。

広報につきましては、「広報まちだ」11月15日号、プレスリリース、図書館特設の私どもの持っているホームページとツイッター、子育てサイト、子どもセンター・子どもクラブ、市内の小・中・高校へチラシとポスターの配布をお願いしております。また、市内3カ所の書店さんのほうにもポスターの掲載をお願いしております。

応募方法は、各市立図書館または町田市民文学館に直接提出するか、中央図書館に郵送をお願いする形になります。

コンテストの選考方法でございます。まず、図書館職員による1次審査を行いまして、1次審査により選ばれた上位10名の作品について、図書館や文学館に来館された方、先ほど申し上げた協力書店の利用者、また各地域で活動されていらっしゃる地域文庫の構成員の方等による投票を行います。その中から最優秀賞1名、優秀賞2名、図書館長特別賞2名の計5名を選出いたします。

2023年3月に表彰式を行います。5名の受賞者の方には、賞状と、副賞としてこのPOPをもとにつくったしおりを贈呈する予定でございます。

なお、入賞した作品のしおりにつきましては、市内各所で配布する予定となっております。

す。

以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（４）について、担当者からご報告いたします。

○図書館長 報告事項（４）「鶴川駅前図書館開館 10 周年記念イベントの実施報告およびマスコットキャラクターの発表について」、ご報告いたします。

鶴川駅前図書館は、10 月 17 日に開館 10 周年を迎えました。現在、同館の運営を行っております指定管理者が、各種イベントを開催するとともに、このイベントの一環として、鶴川駅前図書館のオリジナルのマスコットキャラクターを作成、発表いたしました。

まず、マスコットキャラクターについて資料をご覧ください。このデザイナーは、市内在住の絵本作家の中垣ゆたかさんです。命名につきましても募集を行いまして、小学校 3 年生の「おむすびさん」という方から名称をつけていただきました。名前は、2 人キャラクターがいるのですが、大きいほうが「つるまっちー」、小さいほうが「こつるまっちー」となっております。

このイベントにつきましては、8 月から 10 月にかけて、まず、中垣ゆたかさんがつくられたデザイン 4 案について、人気投票を実施いたしました。その人気投票で 1 番のキャラクターを発表して、そちらに名前をつけるコンテストをさせていただいて、決定をいたしました。10 月 23 日には、作者であります中垣ゆたかさんによるキャラクターの発表会と読み聞かせ、また、工作ワークショップを行ったところでございます。

その他のイベントとして 3 点行っております。

1 点目は、『『かいけつゾロリ』といっしょに写真を撮ろう！缶バッジをつくろう！』ということで、児童書の人気キャラクターであります「かいけつゾロリ」との写真撮影会、缶バッジ作成のワークショップを行っております。

2 点目が、きむらゆういちさんの講演会「あらしのよるにシリーズ誕生秘話」です。こちらも人気のある絵本でございます「あらしのよるに」の原作者のきむらゆういちさんの講演会と読み聞かせ、また工作のワークショップを行いました。

3 点目は、紙芝居作家のさるびあ亭かー子様をお願いして、「鶴川駅前図書館 10 年の歩み」というオリジナルの紙芝居をつくっていただきました。また、実際にさるびあ亭かー

こ氏による書きおろし紙芝居の実演を行っているところです。

また、これに合わせまして、先ほど紹介いたしましたきむらゆういちさんと中垣ゆたかさんの絵本の原画展を、この期間中、開催してございます。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続いて、報告事項（５）について、担当者からご報告いたします。

○市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（５）『竹上妙の絵本と木版画 たけがみZOO展～いきものと目が合った！～』の実施報告について、ご説明差し上げます。

文学館では、7月23日から9月26日まで、町田市在住で絵本作家、木版画作家として活躍する竹上妙さんの絵本を中心に紹介する初めての大規模企画展「竹上妙の絵本と木版画 たけがみZOO展～いきものと目が合った！～」を開催しました。

期間中の総観覧者数は1万30人で、会期55日間の1日平均は183人となりました。就学前の児童とその保護者を主なターゲットとした本展では、文字を習得する以前の子どもたちにも展覧会を楽しんでもらえることを目指し、絵本の世界を体感できる空間をつくり上げました。

展覧会場には、段ボールを素材とした竹上氏が描きおろしたクジラ、キリン、チーターなどの大型動物から、牛、フクロウ、タヌキなど、絵本に登場する動物たちを配した「たけがみZOO」のコーナーを設けたほか、竹上氏による木版画の公開制作などを行い、絵本や版画の世界を体験していただけるようにしました。

また、鑑賞ガイドを配布し、竹上氏自身や絵本の仕事、「彫り進み木版」といった技法について、より深く理解を深めていただけるよう工夫を凝らしました。

このように、「鑑賞」より「体験・体感」を求める最近の来場者傾向を重んじた結果、新型コロナウイルス感染症の第7波のさなかにあつた開催期間にもかかわらず、夏の展覧会としては2018年の絵本作家、舘野鴻展以来、4年ぶりに1万人を超える入場者を記録することができました。

関連事業として、竹上氏を講師とした自然観察会や、「ダンボール動物園」、うちわづくりのワークショップ、木版画公開制作のほか、子どもたちに人気の「ざんねんないきもの

事典」の監修をしている今泉忠明氏の講演会などを実施し、計 941 人の方にご参加いただきました。

本展は、市内に限らず、東京都内及び相模原、横浜、川崎など、近隣市からも多くの方にご来場いただき、アンケート回答者の約 98%の方から満足の評価を得られました。来場者からは、「ダンボールの立体迫力のある原画、カラフルかつリアリティーのある生き物の数々に鑑賞を通り越して体験を感じた」、「空間全体を使った展示で、ワクワクした！」といった好意的な感想が数多く寄せられました。

報告は以上となります。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。

○井上委員 残念ながら、私は足を運ぶことができなかったのですが、ママ友さんが「初めて訪れたけど、こんな場所があったなんて」とびっくりされていました。文学館というのは、そこまで大きな空間ではないはずなんですけれども、足を踏み入れると、イベントごとにまるで違った雰囲気装飾されており、毎回圧倒されて、空間の使い方や展示の方法に驚かされます。次回の展示も楽しみにしております。

○教育長 そのほかにいかがでしょうか。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

最後に、報告事項（6）について、担当者からご報告をいたします。

○市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（6）「第 16 回文学館まつりの実施報告について」、ご説明申し上げます。

文学館では、10 月 23 日に第 16 回文学館まつりを実施いたしました。町会や商店会、文学館通りを考える会など、地域の方々に実行委員としてご協力いただき、2019 年以来、3 年ぶりの開催となりました。当日は「文学館まつり」、「町田時代祭り」、「ゆうゆう版画美術館まつり」、「生涯学習センターまつり」の同時開催となり、4 つの祭りを巡るスタンプラリーなどを実施し、地域回遊型のイベントとして 3,173 人という多くの方々にご参加いただきました。

文学館 1 階では、スーパーボール掬い、占い、鉄道模型の展示といった催しのほか、原町田四丁目第二町会街づくりの会、芹ヶ谷の自然と絆を育む会のパネル展示など、地域の情報発信も行いました。

2 階では、寄席やハロウィンマスクづくりを行ったほか、現在開催中である有料の展覧会を無料開放し、多くの方にご入場いただきました。

また、文学館前の道路を歩行者天国とし、フリーマーケットや模擬店の出店、野外ライブを行い、天候にも恵まれた秋の1日を参加者全員で大いに楽しむことができました。

報告は以上となります。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

予定された本日の公開での議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様あるいは事務局のほうから何かございましたらお願いいたします。――よろしいですか。

休憩いたします。

午前10時48分休憩

午前10時49分再開

○教育長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○教育長 以上で町田市教育委員会第8回定例会を閉会いたします。

午前10時50分閉会